

寿 100歳
おめでとうございます



尾池ツネ子さん (朝日)

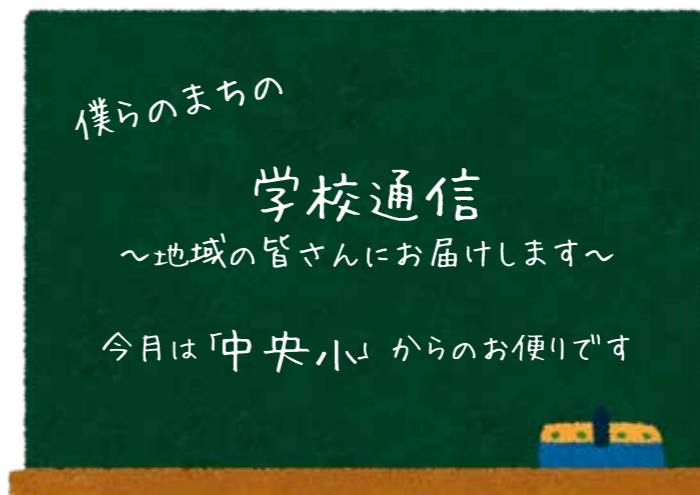
8月1日に100歳の誕生日を迎えられました。生まれも育ちも荒尾。苦勞しながらも男1人、女3人を育て上げ、家族が太鼓判を押すほどの料理上手でした。現在は週一回のデイケアで友人との会話を楽しんでいます。特に病気をしたことがないくらい元気で「何でも食べることが長寿の秘訣。これからも健康で過ごしたい」と話しました。

8/8 WELCOME! ようこそ荒尾へ
～荒尾と世界の架け橋に～



▶右から、ルオさん、マペーさん、レグさん、浅田市長

ALT (外国語指導助手) としてマペー・ネリサレイ・サントスさん、レグ・ビクトリア・アンさん、ルオ・ユアンさんが着任しました。マペーさんは、アメリカのフォートローダーデール市出身、レグさんはカナダのセントジョンズ市出身、ルオさんはカナダのモントリオール市出身です。今後は、市内の小中学校で子どもたちへ英語を指導します。3人は「来日前から興味があった日本で仕事ができるとてもうれしいです。これから荒尾の国際交流を活性化させていきたい」と話しました。



当たり前をやり抜く

中央小は全校児童 560 人、荒尾・玉名管内で3番目に大きい小学校です。ことしの中央小のスローガンは、「チャレンジ! プラス・ワン」。夢や希望を叶える一番の近道は「当たり前をやり抜くこと」として、夏休み前には「進んでいざつ」「はいという返事」「時間を守る」の3つを、9月からは「掃除を頑張る(無言清掃)」「人の話をしっかり聞き、優しい言葉遣いができる」を意識付け、12月までに「5つの当たり前」ができる子どもを目指しています。

8/21 継続的な献血活動に貢献
～荒尾青年会議所へ感謝状を贈呈～



▶荒尾青年会議所の城門理事長(右)と浅田市長(左)

7月11日に献血功勞団体である荒尾青年会議所へ日本赤十字社感謝状が贈呈されました。この感謝状は、献血事業に長年協力をした団体に贈られるもので、荒尾青年会議所は40年以上継続的に献血活動に協力しています。8月21日に浅田市長が伝達式を行い、青年会議所の城門理事長へ感謝状が贈呈されました。城門理事長は「50年に向けて活動を継続していき、また表彰してもらえようまい進していきたい」と今後の活動への意気込みを語りました。

8/24 やはたの祭りが開催されました!
～第13回やはたの祭り～



▶来場者も参加した荒尾音頭は、大いに盛り上がりました

八幡地区の夏の風物詩、八幡地区協議会主催のやはたの祭りが開催されました。当日はあいにくの雨でしたが、約300人の来場があり、八幡地区住民によるダンスパフォーマンス、野原保育園児のおみこしや八幡小学校児童による花笠音頭などが披露されました。ことしも、八幡小学校の児童がボランティアで司会やバザーのお手伝いをしました。子どもたちは「地域の人と一緒に活動できて楽しかった。また来年も参加したい」と笑顔いっぱい話しました。



▲98人の新入生を迎えました ▲3団の団長による誓いの言葉

中央小のオンリーワン

平成26年度から令和2年度までの7年間、文部科学省から「小学校英語に係る教育課程特例校」の指定を受け、1年生から6年生まで全学年で英語の学習に取り組んでいます。全校児童の可能性を大きく拓き、その瞳を輝かせ、育ちを高め、夢と希望の実現のために保護者、地域と連携し全職員一丸となって精一杯取り組んでいます。



9カ国16人の若者との交流学習

おもな内容	main contents
学校通信	2
まちの話題	3
「市長室から」など	6
野原八幡宮 風流・節頭	8
市民文化祭	9
子育てのひろば	10
保健・健康	13
市民病院からのお知らせ	16
あらおのいきいき企業	17
電力の地産地消	18
荒尾競馬場跡地の今、そして、これから	20
くらしの情報	22
試験・募集・イベント	28
はじめてのHAPPY BIRTHDAYなど	33
図書館情報	34
文化センター情報	35
相談の窓口など	36
あらおカレンダー	38

声の広報 [文字による情報入手が困難な障がい者のための音声録音版広報紙]
圃福祉課福祉係 ☎63-1406

荒尾市ホームページ
http://www.city.arao.lg.jp/

★荒尾市強調月間★
10月は「市民みなスポーツの月」

UD FONT by MORISAWA
広報あらおは見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用しています。